

令和2年 第13回(令和2年11月4日 開催) 四日市市教育委員会会議の概要について

<議 事>

- 報 告 ・ 令和2年度の教育委員会における点検及び評価について
- ・ 令和3年度当初予算要求の概要について

議事概要

第13回は、議事の一部に市議会等での審議・検討事項案件等があることから、会議の一部を非公開で行いました。この度、2月定例会議の最終日を迎えたことから、議事概要を公開いたします。

○報 告

- ・ 令和2年度の教育委員会における点検及び評価について
令和2年度の教育委員会における点検及び評価に関する、重点項目や実施計画等について、報告を行いました。

令和2年度 教育施策評価の重点項目
基本目標1「確かな学力の定着」(ICTを活用した教育の充実・発展)

<委員からの主な意見>

- ・ 視察予定の橋北中学校においては、AI型教材(自動採点ソフト)が先行導入されている。AI型教材は、個別最適な学びを推進するうえで、非常に良いツールである。AIは利用すればするほどデータが蓄積されていくため、将来的に活用できる範囲がさらに広がっていく。今後、全国的にAI型教材の利用が進むと考えられるため、四日市市も全国の流れに遅れないよう取り組みを進めていく必要がある。

○報 告

- ・ 令和3年度予算要求の概要について
令和3年度に予算要求を行った事業の概要について、報告を行いました。

<委員からの主な意見>

- ・ 教育委員用タブレット端末の導入について、ペーパーレス化を取り入れることで教育行政の今後の効率化や多忙化の緩和に貢献するのではないかと。教育委員会が率先すれば、学校現場での時間の削減、多忙化の緩和にもつながると考える。
- ・ 夏休み生活向上事業について、子どもたちの生活リズムを向上させていくことは大切なことであり、そのためには保護者との繋がりも重要である。ICTを活用するなどして、保護者も巻き込んだ取り組みが進められると良い。
- ・ 部活動サポート事業について、部活動に多大な労力を消費している中学校教員がいる中で、教員の負担軽減や子どもと向き合う時間の確保は非常に重要なこと。以前から、これは課題となっているため、総合型地域スポーツクラブとの連携等も進めながら、積極的に取り組んでいく必要がある。
- ・ インクルーシブ教育推進事業について、特別支援学級に在籍している子どもに関しては、特性等が掴めているとは思いますが、通常学級にも特性を持った子どもはいることから、そういった子どもへの支援体制の構築も今後、進めていく必要がある。

四日市市教育委員会 教育総務課政策グループ

〒510-8601 四日市市諏訪町1-5

電話: 059-354-8237 FAX: 059-354-8308

電子メール: kyouikusoumu@city.yokkaichi.mie.jp